

# 学芸学部英語学科の教育

## 1. 教育理念・教育目標

### 1.1 学芸学部の教育理念・教育目標

学芸学部は、信念ある女性を育成することを基本目的として、広く知識を授け、高い教養と専門的能力、豊かな人間性をかねそなえた優れた人材を育成することを教育目標としています。

### 1.2 英語学科の教育理念・教育目標

英語学科の教育プログラムは、幅広い教養と論理的・創造的な思考力を身につけ、グローバル化した社会に実践的で高度な英語コミュニケーション能力で貢献できる人材を育成することを目標に構成されています。

移動や情報伝達の技術革新が世界の結びつきを一層強くしているこの時代において、誰もが世界の様々な文化や習慣を理解することにより恩恵を得られます。違いに対する客観的な探求心を醸成してその理解を深めることが世界の平和を達成するために不可欠な要素です。

英語学科は学生がグローバルな視野を持ち、多様な文化や人間を理解した英語によるコミュニケーション能力を獲得するように、入学時から多くの授業を英語で実施する英語集中プログラムを導入しています。また、クリティカル・シンキング（批判的思考）の考え方を取り入れ、創造性を重視した教育を実施して、学生の論理的思考力や表現力、さらには想像力を育成し、国際社会で活躍できるコミュニケーション能力を持った地球市民の育成を目指しています。グローバルな視野、論理的思考力と表現力を持った自立した女性が多様な職業分野で求められています。

具体的には、次のいずれかの人材育成を目指します。

- ① 文化的、政治的国際交流の場で必要となる社会文化的な把握が的確にできる女性
- ② 国際化するビジネス分野で必要とされるビジネス活動、経済、企業マネジメント、マーケティング、法律等の実践的基礎知識を持ち、ビジネス分野での課題の設定や問題解決能力、提案能力、交渉能力を身に付けた女性
- ③ グローバル社会における課題を認識し、文化・言語や人間に関する諸問題を理解する能力とともに、教育に関する実践的知識を身に付けた女性

## 2. アカデミック・アドバイザー制度

これは学部の専任教員が学生一人一人の成績(GPA)や単位の取得状況を考慮しながら、履修相談や学生指導を行う制度です。この相談や指導を行う専任教員のことをアカデミック・アドバ

イザーと呼んでいます。このアカデミック・アドバイザー制度の特徴は、入学時から卒業時まで継続的に学生の履修相談にのり学生指導を行う点にあります。

アカデミック・アドバイザーは担当学生の科目選択を支援し、学修の進捗や学習上の問題に関するアドバイスをし、必要に応じて個別指導（チューターリング）を行います。また、学生生活への適応をサポートし、学修目標や就職の相談にものります。

履修登録をする前には必ずアカデミック・アドバイザーの指導を受けてください。

### 3. 学生の権利と義務

桜花学園大学に入学することにより、学生は学則を守ることに同意したことになります。

「学生の権利と義務」は、学則に基づき、学芸学部英語学科の教育的価値観、教育目標、全ての学生に期待する行動を反映したものです。「学生の権利と義務」は、学芸学部英語学科の教育目標に基づいた教育を受ける課程で、学生に人間としての成長と自立性を獲得するように求めています。

#### 学生の権利

1. 学芸学部の教育制度や学部運営を改善するために教職員との話し合いに友好的な姿勢で参加する権利
2. 各授業の教育内容を改善するための意見を友好的な姿勢で述べる権利
3. 学生生活を支援するための助言をアカデミック・アドバイザーから得る権利
4. 学位取得に必要な科目選択に関する情報を得る権利
5. 卒業条件を満たすのに必要な履修状況やその進捗に関する情報を得る権利
6. 授業の成績評価に関する方針をその授業の当初に知る権利
7. 学業活動への威嚇や妨害を意図した人物による嫌がらせを受けない権利
8. 教員による成績評価後に学業上の提出物や試験を再度見る権利
9. 学業上のプロジェクト、エッセイ、レポートなどの提出物を保持する権利
10. 教職員や他の学生から人種、宗教、性、性的指向、年齢、社会的地位、国籍などによる差別を受けない権利

#### 学生の義務

1. 桜花学園大学および学芸学部の規則や方針及び日本の法律を理解し従う義務
2. 学業上や学生生活上で問題が生じた時に教職員から指導・アドバイスを受ける義務
3. 学修目標を達成するための学生としての責務を追及する義務
4. 授業に遅刻しない義務、出席する義務

5. 課題や試験での不正行為や盗作などをせず、誠実な学業行為への責任を堅持する義務
6. 他人に対して思いやりと尊敬心を持ってキャンパスで行動する義務
7. 名前、住所、電話番号などの登録上の変更を大学に届ける義務
8. 大学の公的仕事を遂行中の大学の職員の指示に従う義務
9. 火災や安全に関する規則や省エネルギー方針を守る義務
10. 他人の権利や財産を尊重する義務

#### 4. 学芸学部英語学科の教育方針

教育理念・教育目的に従い最大限の学修成果を得るために、学芸学部英語学科は次の教育方針を採用しています。

##### ①イマージョン環境での英語による学修

学芸学部英語学科では英語で多様な学芸すなわち教養科目を学修します。外国語は意図して意味のある環境で常に使うのでなければなかなか身につけません。したがって、学芸学部の公用語は英語です。一部の授業を除き、授業中はもちろんのこと授業外でも英語でコミュニケーションを取るようにしてください。最初は苦しいかもしれませんが意味のあるコミュニケーション手段として使い慣れるのが外国語を習得する最も近道です。

##### ②クリティカル・シンキング

学修は授業やテキストの内容を単に暗記し、他人の考えや意見を鵜呑みにすることではありません。好奇心を持って、批判的に考え、自分の考えを論理的で分かりやすくまとめる能力がグローバルな世界で通じる思考力です。学生は、クリティカル・シンキングの技法を学修し、教員も含めてお互いの考えを検証し自分の意見を発表することが求められます。

##### ③学修への積極的な姿勢

学修目的を明確にし、自己の学修方法を確立し、学修に責任ある姿勢で臨むことが求められます。4年間の学修を実りあるものにするためには、学業に全力を注ぐことが不可欠であります。そうした学修を教職員も積極的に支援していきます。

##### 1) 授業出席

学芸学部英語学科では、教えることと学修することは学生と教員の間での日常的な交流を必要とする相互関係の活動です。学生が授業やその他の教育活動に欠席すれば、そうした活動は成り立ちません。従って、病気やその他の緊急時を除いて、学生が全ての授業に出席することを期待しています。やむを得ず欠席した場合には、自分の責任で欠席した授業の内容を補

うよう求められます。

## 2) 授業準備

学則にもあるように、学修活動は教室での授業のみにとどまりません。学生はそれぞれの授業に充分準備して出席し、課題・宿題を期限までにやり遂げるように期待されています。

## 3) 授業への積極的な参加

学修とは積極的に参加することによって成り立ちます。学生は授業でのディスカッション等に積極的に参加し、自分の意見を述べ、議論を導いていくことが要求されます。また、積極的に質問をすることも必要です。

## 4) 学修法の研究

学修目的を明確にし、効果的な学修方法を実践することによってよりよい学修成果が得られます。学修方法を定期的にモニターし、より効果的なものに改善する必要があります。

## ④情報技術の積極的な利用

情報技術を活用する能力は現代社会の多様な職業にとって不可欠の要素になっています。学芸学部では多くの授業で情報技術を活用した授業を行い、学生が積極的に情報技術を活用する活動を支援します。

## 5. カリキュラム構造

学芸学部の教育課程は大きく共通教育科目、専門教育科目、自由科目に区分されています。

### 共通教育科目

学芸学部は保育学部との間に「共通教育科目」を設け、本学の建学の精神を具現化した教養科目群「桜花学」と、「汎用的能力」「社会人基礎力」の育成を目指す科目群「基礎科目」、及び特定の領域に関する学びの幅を広げる科目群「エクステンション科目」を設置しています。これらの共通教育科目はおおむね1年次から2年次の前期までに開講されており、その後開講される専門教育科目の対応する科目と有機的に連携しているので、全体として効果的に教養教育を学ぶことができるようになっています。

### 専門教育科目

学芸学部は専門的な知識や方法論を体系的に学ぶために、以下の「専門教育科目」を設置しています。

- 1) 基礎的な英語運用力を養うための英語ベーシック（スキル）の科目
- 2) 英語ベーシックで学んだ基礎的な英語運用力をさらに伸ばす英語コースの科目
- 3) 将来、教職や英語教育に携わることを考えている学生のための教育コースの科目
- 4) 将来、観光の分野で働くことを考えている学生のための観光コースの科目
- 5) 共通教育科目で身につけた教養と能力を、さらに深めるための三コース共通の科目
- 6) 身につけた知識・能力を統合的に活用して問題を解決し、新たな価値を創造するためのセミナーおよび卒業論文

### ①英語ベーシック（スキル）の科目

学芸学部英語学科では、英語ベーシック（スキル）を教育課程の基礎と位置づけており、必修 20 科目 (36 単位) と選択 4 科目 (8 単位) で編成しています。いずれの科目においても、学習法の基本に音読を据え、音声指導に力を入れます。美しい英語の発音を手に入れて下さい。

「英語ベーシック」では 1 年かけて英語の基礎と文法、基本的な学習方法を指導します。

「Listening and Speaking」「Reading and Writing」は 2 年間週 2 回みっちり勉強します。

「English Presentation」の授業も 2 年間かけてプレゼンテーション能力を育成します。

この英語ベーシックの科目で身につけたスキルは、学芸学部英語学科での他のすべての学修につながっていくことになります。

### ②三コース共通科目

学芸学部英語学科は英語コース、教育コース、観光コースからなる緩やかなコース制を敷いています。三コース共通科目はそれら三つのコースに共通の科目です。3 科目 8 単位を必修科目（単位）として設定しており、いずれも共通教育科目から有機的につながっている専門教育科目です。

### ③英語コースの科目

学芸学部英語学科の学生は全員いずれかのコースに所属します。所属コースの 8 科目 16 単位を取得することが必要ですが、それ以外は自由に他のコースの科目を履修することができます。英語コースの科目は英語ベーシックの発展形で英語の力をさらに磨いていきます。

### ④教育コースの科目

教育コースは将来教職に就きたい人や英語教育に携わりたい人のためのコースです。1 年次に配当されている科目があるので、アカデミック・アドバイザーとよく相談して履修登録して下さい。

## ⑤観光コースの科目

観光コースは将来観光分野で働きたい人のためのコースです。これも1年次に配当されている科目があるので、アカデミック・アドバイザーとよく相談して履修登録して下さい。

## ⑥セミナー・卒業研究

3, 4年次の必修科目の「Seminar（セミナー）」（4科目4単位）で研究法や論文作成法を学修し、学芸学部における4年間の学修の集大成として「Graduation Thesis(卒業論文)」、または「Graduation Portfolio（卒業ポートフォリオ）」（必修4単位）を作成します。

## 自由科目

自由科目として中学、高等学校の英語の教員免許取得に必要な教職課程科目を配置しています。教員免許取得を希望する学生がより総合的な教育力を養成できるように、専門教育科目の教育コースの科目と連携を図りながら教育目標を達成できるように免許修得に必要な科目を配置しています。教職課程科目は1年次から始まり、3年次以後の教育実習までに必要な科目が履修できるように年次配当をしています。

## 教育実習について

教員免許取得のための教育実習をするためには、学芸学部の教職課程委員会による資格審査を受けて、許可される必要があります。

## 6. 3つの履修モデル

### 1) 専門的に英語を学修する「英語コース」履修モデル

1、2年次に「英語ベーシック」で身につけた英語の基礎を発展させ、メディア英語、ビジネス英語、通訳、翻訳、多読、英米文学、英語学（言語学）など多様な切り口で英語の力を伸ばして行きます。すべての科目が英語で行われるので、他コースの学生たちにも英語に触れ続ける機会を提供します。一方、中身のある英語を話せる人材になるために、1～2年次の共通教育科目に加え、三コース共通科目を履修することで、幅広い教養と論理的思考力を持つグローバル人材を目指します。

### 2) 専門的に教育を学修する「教育コース」履修モデル

中学校や高等学校での教職（英語）を目指す人や小学校英語指導者資格(J-SHINE)の取得を目指す人など、将来、英語教育に関わることを目指している人のための科目が配置されています。自由科目と併せて履修することで夢の実現を目指します。中身のある英語を話せる人材になるために、1～2年次の共通教育科目に加え、三コース共通科目を履修することで、幅広い教養と論理的思考力を持つグローバル人材を目指

す点は他のコースと同様です。

### 3) 専門的に観光を学修する「観光コース」履修モデル

将来、観光の分野で活躍することを目指している人のための科目が配置されています。観光英語や社会人類学、比較文化論は英語で学ぶ一方、観光学概論、観光マーケティング、旅行地誌など観光にまつわる基礎的な分野は日本語で学修します。中身のある英語を話せる人材になるために、1～2年次の共通教育科目に加え、三コース共通科目を履修することで、幅広い教養と論理的思考力を持つグローバル人材を目指す点は他のコースと同様です。

## 7. 学修の成果

各学期末に学生は教務課から成績表を受け取ります。成績表には授業科目ごとの成績の他にその学期の平均値 GPA(Grade Point Average)と通算の GPA が記載されています。また、TOEIC を入学時および年度末に全員が受験します。アカデミック・アドバイザーは担当学生の科目の成績、GPA 及び TOEIC のスコアなどにより学生一人一人の学修の進捗・達成度を確認します。必要に応じてアカデミック・アドバイザーと学修方法の見直しをします。

\*GPA とは履修科目ごとの成績評価を AA (秀)、A (優)、B (良)、C (可)、F (不可) の 5 段階評価対して 4、3、2、1、0 のグレード・ポイント(GP)を付与し、個々の履修科目の GP にそれぞれの単位数をかけ、その合計値を履修登録科目の総単位数で割った平均値を指します。履修登録取消期間中に取消申込をした場合には、その科目は W として扱われ、GPA の算出対象になりませんが、無断で履修放棄をすると、その科目には F 評価となります。

## 8. 履修単位数の上限

学芸学部英語学科では学習効果を高めるために、セメスターごとの履修単位数に上限を設けています。学生が、各学期に履修登録できる共通教育科目と専門科目の合計単位数に関しては、標準的な履修登録の単位数を 20 単位とし、以下の通り定めています。

1. 前学期の学期 GPA が 3.5～4.0 の場合の履修単位数の上限は 24
2. 前学期の学期 GPA が 3.0～3.4 の場合の履修単位数の上限は 22
3. 前学期の学期 GPA が 2.5～2.9 の場合の履修単位数の上限は 20
4. 前学期の学期 GPA が 2.0～2.4 の場合の履修単位数の上限は 18
5. 前学期の学期 GPA が 2.0 未満の場合の履修単位数の上限は 16
6. 新入学生、編入学生、再入学生の履修単位数の上限は 20

なお、自由科目（教職科目）、学外実習科目、集中講義はこの上限制限に含まれません。

GPA 及び履修単位数の上限に関しては、「桜花学園大学学芸学部 GPA 制度および履修登録単位数の上限制度に関する要項」（学則 諸規程に収録）を参照してください。

## 9. 卒業の要件

学芸学部を卒業して、学士(英語) (Bachelor of Arts in English) の資格を得るためには 124 単位以上取得する必要があります。その内訳は以下のようになります。

次の(1)及び(2)の条件を満たして、共通教育科目及び専門教育科目から 124 単位以上取得

(1) 共通教育科目から必修科目を含めて 30 単位以上取得

必修 16 単位、1 外国語 2 単位を含む

(2) 専門教育科目から以下を含めて 94 単位以上取得

①英語ベーシック（スキル）の必修科目 36 単位

②英語、教育、観光いずれかのコースの選択科目から 16 単位以上

③三コース共通科目の必修科目 8 単位

④Basic Seminar III、IV 2 単位

⑤Seminar I ~IV 4 単位及び卒業研究 4 単位

## 学芸学部のカリキュラムポリシー

学芸学部英語学科は「幅広い教養と論理的・創造的な思考力」及び「グローバル化した社会における実践的な英語コミュニケーション能力」を持った教養人を養成するため、以下のような方針に基づいてカリキュラム（教育課程）を編成しています。

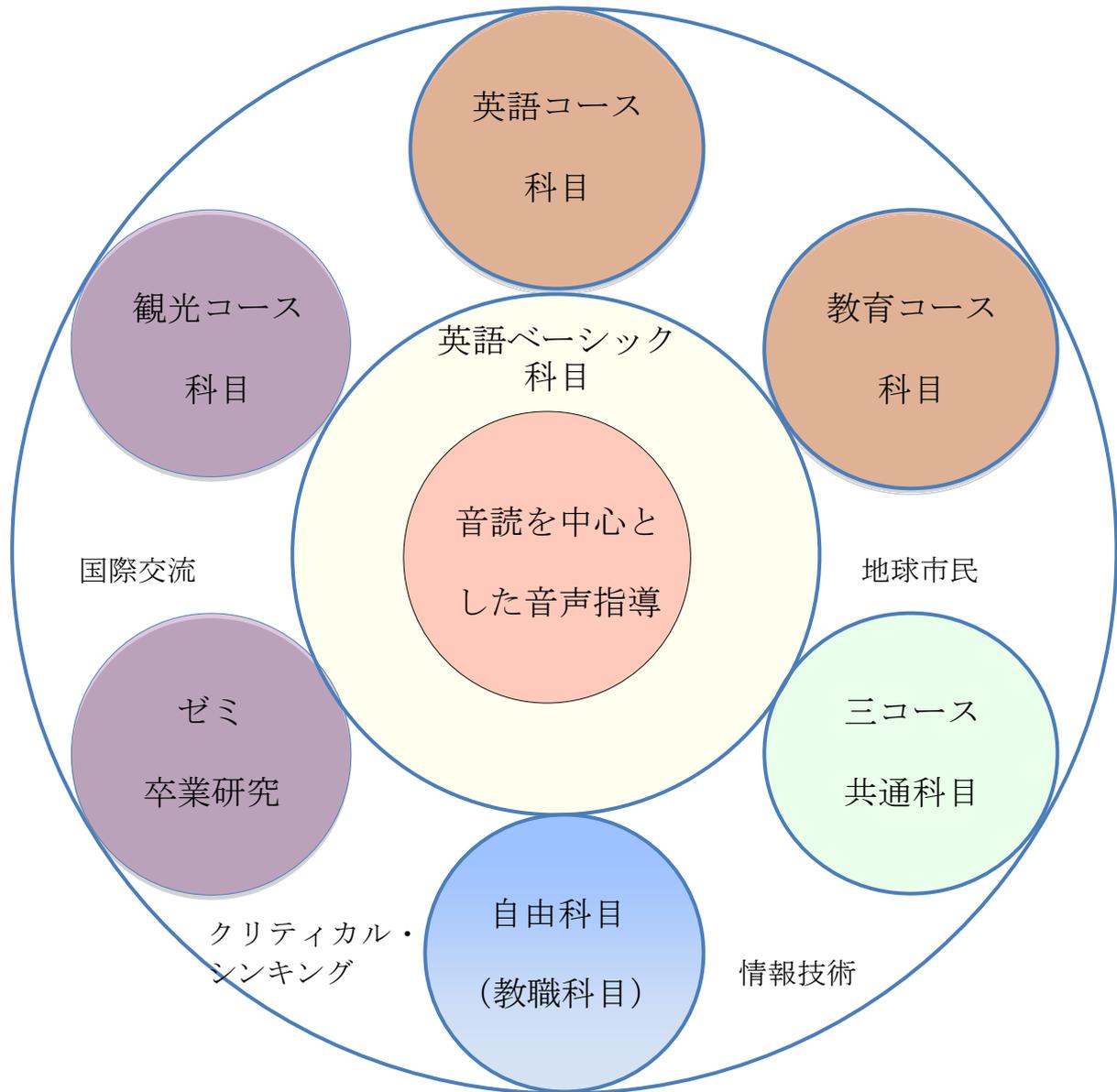
1. 学芸学部は保育学部との「共通教育科目」として、本学の建学の精神を具現化した教養科目群「桜花学」と、「汎用的能力」「社会人基礎力」の育成を目指す科目群「基礎科目」、及び特定の領域に関する学びの幅を広げる科目群「エクステンション科目」を設置しています。
2. 専門的な知識や方法論を体系的に学ぶために、以下の「専門教育科目」を設置しています。
  - 1) 基礎的な英語運用力を養うための英語ベーシック（スキル）の科目
  - 2) 英語ベーシックで学んだ基礎的な英語運用力をさらに伸ばす英語コースの科目
  - 3) 将来、教職や英語教育に携わることを考えている学生のための教育コースの科目
  - 4) 将来、観光の分野で働くことを考えている学生のための観光コースの科目
  - 5) 共通教育科目で身につけた教養と能力を、さらに深めるための三コース共通の科目
  - 6) 身につけた知識・能力を統合的に活用して問題を解決し、新たな価値を創造するためのセミナーおよび卒業論文
3. 批判的・論理的思考力や課題探求力やコミュニケーション能力を育成するために研究や討論を実践的に積み上げる参加型の授業を実施しています。

## 学芸学部のディプロマポリシー

学芸学部は人文・社会科学の諸分野に関わる学芸を教授研究し、深く真理を探究して新たな知見を創造し、その成果を広く社会に提供することにより、社会の発展に寄与する「信念ある女性」を育成することを目的としています。英語学科では「幅広い教養と論理的・創造的な思考力」及び「グローバル化した社会における実践的な英語コミュニケーション能力」を持った人材を育成することを目的としています。この教育目的に基づく教育課程を履修し、厳格な成績評価を経て卒業に必要な単位を修得し、以下に挙げる能力を身につけた者に対して、学芸学部英語学科は学士の学位を授与します。

1. グローバルな視点から言語及び異文化を理解する能力
2. グローバル化した社会における実践的な英語コミュニケーション能力
3. 修得した知識に基づいて、批判的思考ができ、グローバル化した社会に向けて論理的で創造的な発信ができる能力
4. 現代社会に必要とされる情報リテラシーを身につけ、国際社会に貢献できる能力

## 学芸学部英語学科の概念図



共通教育科目： 桜花学、基礎科目、エクステンション科目

共通教育科目  
専門教育科目  
英語ベーシック (スキル) 科目  
三コース共通科目  
・英語コース  
・教育コース  
・観光コース  
ゼミ・卒業研究  
自由科目 (教職科目)

## 学芸学部英語学科のカリキュラム構造の概念図

### 共通教育科目

本学の建学の精神を具現化した教養科目群「桜花学」、「汎用的能力」「社会人基礎力」の育成を目指す科目群「基礎科目」、特定の領域に関する学びの幅を広げる科目群「エクステンション科目」

教養科目（桜花学） 5領域から選択必修5科目 10単位以上

基礎科目 必修6科目 6単位、選択科目（外国語）14科目 2単位以上  
選択科目 12単位以上

エクステンション科目 6単位まで



### 専門教育科目



英語ベーシック (スキル)の科目 群	必修 科目	基礎的英語力を養うための英語学科の基礎的な科目群（20科目 36単位）
	選択 科目	実力に応じたクラス編成を行う英語資格講座の科目群（4科目 8 単位）
三コース共通の 科目群	英語、教育、観光の三コースに共通の科目群。3科目 8単位を必修とする。共通教育科目から有機的につながる専門教育科目。	
英語コースの科 目群	英語ベーシックで学んだ内容の発展形であり、英語の力をさらに磨くための科目群。8科目 16単位の取得が必要である。	
教育コースの科 目群	将来、教職に就きたい人や英語教育に携わりたい人のための科目群。8科目 16単位の取得が必要である。	
観光コースの科 目群	将来、観光の分野で働きたい人のための科目群。8科目 16単位の取得が必要である。	
Basic Seminar、 ゼミ・卒業研究	2年次は Basic Seminar で進路や人生設計を学ぶ（2単位）。3,4年次はゼミで卒業論文、または卒業ポートフォリオを纏める（8単位）。	

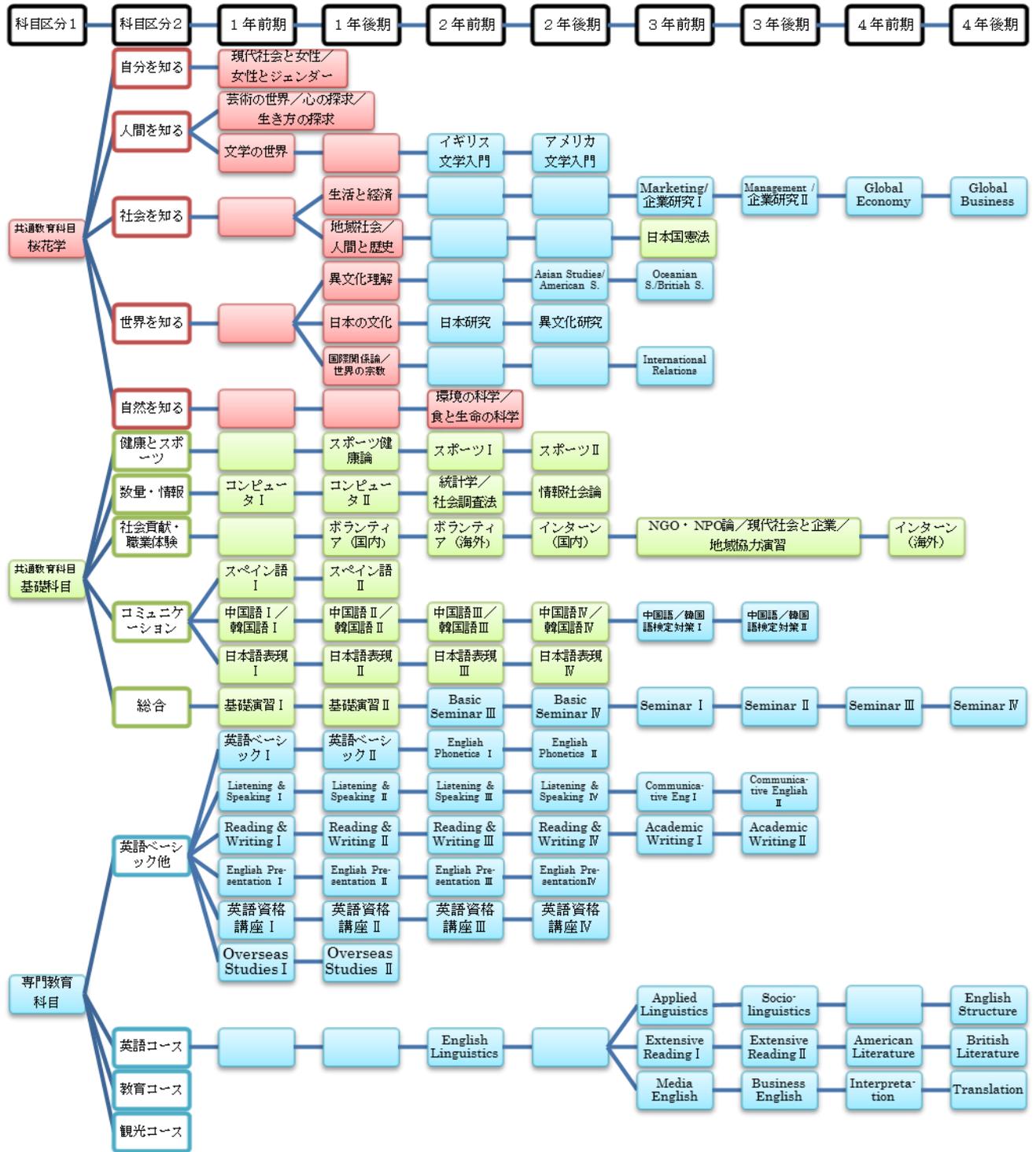


### 自由科目（教職科目）

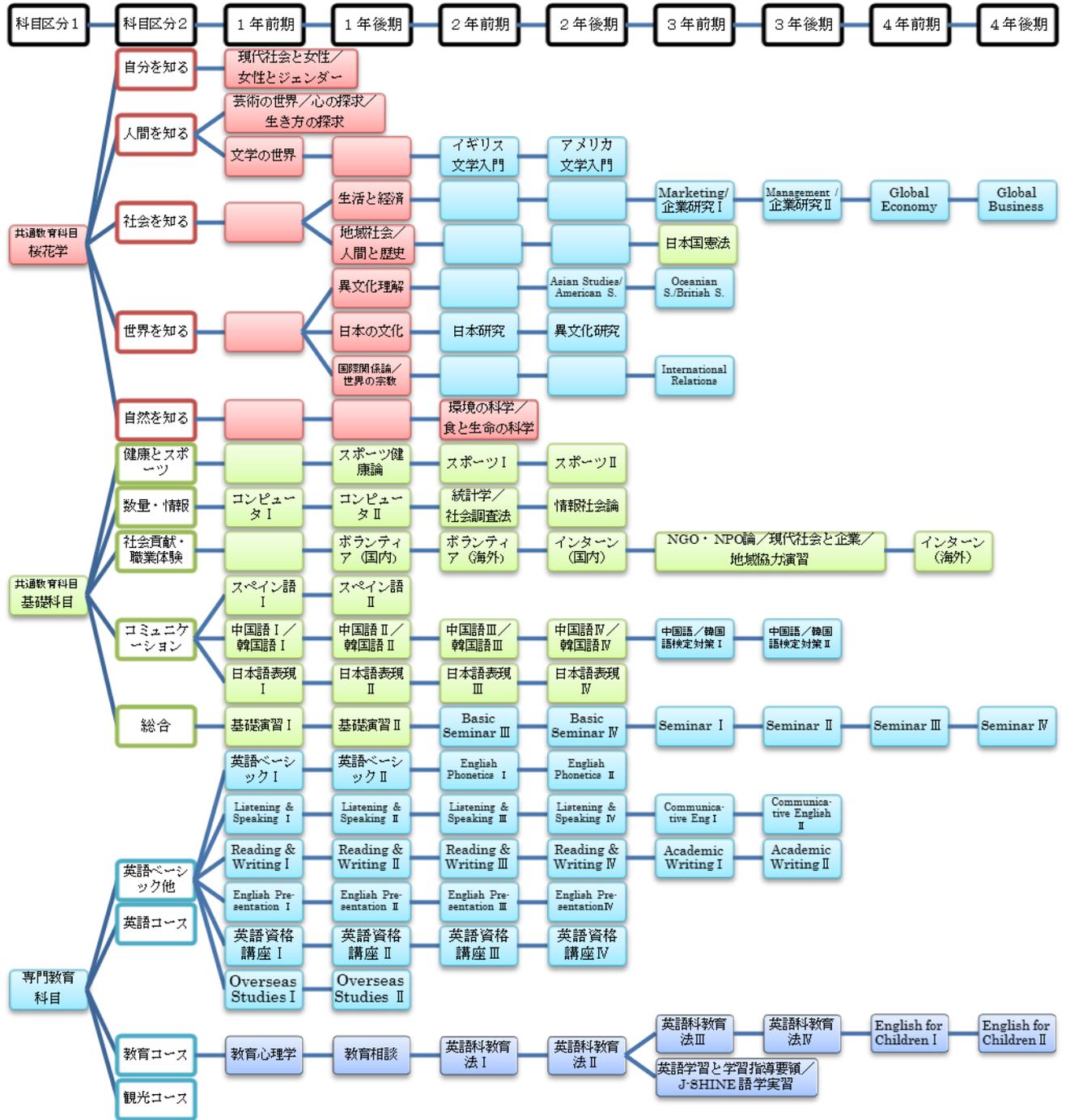


中学及び高校の教員免許1種（英語）を取得するのに必要な11科目 23単位（免許取得には共通教育科目及び専門教育科目から指定された科目の履修が必要）。

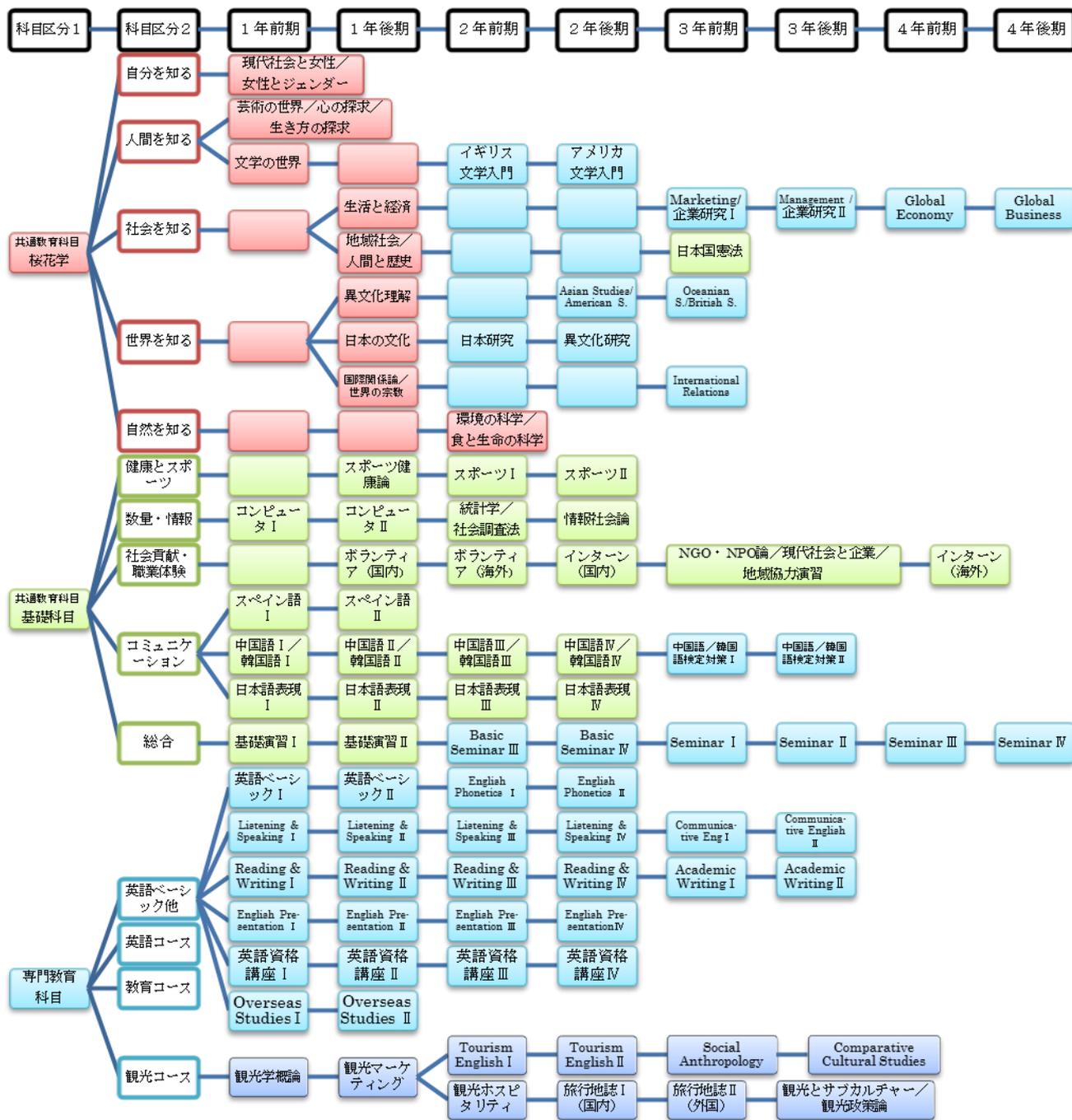
# 英語コース履修系統図



# 教育コース履修系統図



# 観光コース履修系統図



履修モデル2 教育コース

修学目的：国際通用性の高い英語コミュニケーション能力とともに、将来、教育の分野で活躍するために必要な知識を身につけることを目的としています。

区分	1年				2年				3年				4年				合計	要件	
	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位			
基礎科目	桜花学 選択必修	現代社会と女性(2) 女性とジェンダー(2)	4	生活と経済(2) 地域社会(2) 人間と歴史(2)	6	環境の科学(2) 食と生命の科学(2)	4										14	6	
		芸術の世界(2) 文学の世界(2) 心の探求(2) 生き方の探求(2)	8	異文化理解(2) 日本の文化(2) 国際関係論(2) 世界の宗教(2)	8													16	4
	基礎科目 必修	基礎演習Ⅰ(1) 日本語表現Ⅰ(1)	2	基礎演習Ⅱ(1) 日本語表現Ⅱ(1)	2	日本語表現Ⅲ(1)	1	日本語表現Ⅳ(1)	1									6	6
		コンピュータⅠ(1)	1	スポーツ健康論(2) コンピュータⅡ(1)	3	スポーツⅠ(1) 統計学(2) 社会調査法(2)	5	スポーツⅡ(1) 情報社会論(2)	3	NGO・NPO論(2) 現代社会と企業(2) 地域協力演習(2)	6							18	
専門教育科目	英語ベーシック 必修	英語ベーシック(1) Listening&SpeakingⅡ(2) Reading & Writing (3) EnglishPresentationⅠ(1)	7	英語ベーシック(1) Listening&SpeakingⅡ(2) Reading & Writing (3) EnglishPresentationⅠ(1)	7	Listening & SpeakⅢ(2) Reading&WritingⅢ(3) EnglishPresentation(1) English PhoneticsⅠ(2)	8	Listening & SpeakⅢ(2) Reading & WritingⅣ(3) EnglishPresentation(1) English PhoneticsⅡ(2)	8	Communicative EnglishⅠ(1) Academic WritingⅠ(2)	3	Communicative EnglishⅡ(1) Academic WritingⅡ(2)	3					36	36
		英語資格講座Ⅰ(2) 英語資格講座Ⅲ(2)	2	英語資格講座Ⅱ(2) 英語資格講座Ⅳ(2)	2	英語資格講座Ⅰ(2) 英語資格講座Ⅲ(2)	2	英語資格講座Ⅱ(2) 英語資格講座Ⅳ(2)	2	英語資格講座Ⅰ(2) 英語資格講座Ⅲ(2)	2	英語資格講座Ⅱ(2) 英語資格講座Ⅳ(2)	2	英語資格講座Ⅰ(2) 英語資格講座Ⅲ(2)	2	英語資格講座Ⅱ(2) 英語資格講座Ⅳ(2)	2	8	8
	三コース共通 必修			Overseas StudiesⅠ(4)	4	日本研究(2)	2	異文化研究(2)	2									8	8
		中国語検定対策Ⅰ(2) 韓国語検定対策Ⅰ(2)	4	中国語検定対策Ⅱ(2) 韓国語検定対策Ⅱ(2)	4	イギリス文学入門(2) 中国語検定対策Ⅰ(2) 韓国語検定対策Ⅰ(2)	6	Asian Studies(2) American Studies(2) アメリカ文学入門(2) 中国語検定対策Ⅱ(2) 韓国語検定対策Ⅱ(2)	10	Oceanian Studies(2) British Studies(2) 企業研究Ⅰ(2) International Relations(2) Global Economy(2) Marketing(2) 中国語検定対策Ⅰ(2) 韓国語検定対策Ⅰ(2)	16	企業研究Ⅱ(2) Global Business(2) Management(2) 中国語検定対策Ⅱ(2) 韓国語検定対策Ⅱ(2)	10	Oceanian Studies(2) British Studies(2) 企業研究Ⅰ(2) International Relations(2) Global Economy(2) Marketing(2) 中国語検定対策Ⅰ(2) 韓国語検定対策Ⅰ(2)	16	企業研究Ⅱ(2) Global Business(2) Management(2) 中国語検定対策Ⅱ(2) 韓国語検定対策Ⅱ(2)	10	52	52
教育コース 必修	教育心理学(2)	2	教育相談(2)	2	English for ChildrenⅠ(2) 英語科教育法Ⅰ(2)	4	English for ChildrenⅡ(2) 英語科教育法Ⅱ(2)	4	英語学習と学習指導要領(2) J-SHINE 語学実習(2) English for ChildrenⅠ(2) 英語科教育法Ⅲ(2)	8	English for ChildrenⅡ(2) 英語科教育法Ⅳ(2)	4	English for ChildrenⅠ(2)	2	English for ChildrenⅡ(2)	2	2	20	16
					Basic SeminarⅢ(1)	1	Basic SeminarⅣ(1)	1	SeminarⅠ(1)	1	SeminarⅡ(1)	1	SeminarⅢ(1)	1	SeminarⅣ(1)	1	6	6	
合計		29		35		30		32		35		19		20		14	124		

履修モデル1 英語コース

修学目的：国際通用性の高い英語コミュニケーション能力とともに、国際関係・地域社会・文化の深い知識を身につけることを目的としています。

区分	1年				2年				3年				4年				合計	
	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位		
基礎教育科目	校花学 選択必修	現代社会と女性(2) 女性とジェンダー(2)	4	生活と経済(2) 地域社会(2) 人間と歴史(2)	6	環境の科学(2) 食と生命の科学(2)	4										14	
		芸術の世界(2) 文学の世界(2) 心の探求(2) 生き方の探求(2)	8	異文化理解(2) 日本の文化(2) 国際関係論(2) 世界の宗教(2)	8													16
	必修	基礎演習Ⅰ(1) 日本語表現Ⅰ(1)	2	基礎演習Ⅱ(1) 日本語表現Ⅱ(1)	2	日本語表現Ⅲ(1)	1	日本語表現Ⅳ(1)	1								6	
	選択	コンピュータⅠ(1)	1	スポーツ健康論(2) コンピュータⅡ(1)	3	スポーツⅠ(1) 統計学(2) 社会調査法(2)	5	スポーツⅡ(1) 情報社会論(2)	3	NGO・NPO論(2) 現代社会と企業(2) 地域協力演習(2)	6						18	
	選択必修	スペイン語と文化Ⅰ(1) 中国語と文化Ⅰ(1) 韓国語と文化Ⅰ(1)	3	スペイン語と文化Ⅱ(1) 中国語と文化Ⅱ(1) 韓国語と文化Ⅱ(1)	3	中国語と文化Ⅲ(1) 韓国語と文化Ⅲ(1)	2	中国語と文化Ⅳ(1) 韓国語と文化Ⅳ(1)	2									10
専門教育科目	英語ベーシック 必修	英語ベーシック(1) Listening&SpeakingⅠ(2) Reading & Writing (3) EnglishPresentationⅠ(1)	7	英語ベーシック(1) Listening&SpeakingⅡ(2) Reading & Writing (3) EnglishPresentation(1)	7	Listening & SpeakⅢ(2) Reading&WritingⅢ(3) EnglishPresentation(1) English PhoneticsⅠ(2)	8	Listening & SpeakⅢ(2) Reading& WritingⅣ(3) EnglishPresentation(1) English PhoneticsⅡ(2)	8	Communicative EnglishⅠ(1) Academic WritingⅠ(2)	3	Communicative EnglishⅡ(1) Academic WritingⅡ(2)	3					36
		英語資格講座Ⅰ(2) 英語資格講座Ⅲ(2)	2	英語資格講座Ⅱ(2) 英語資格講座Ⅳ(2)	2	英語資格講座Ⅰ(2) 英語資格講座Ⅲ(2)	2	英語資格講座Ⅱ(2) 英語資格講座Ⅳ(2)	2	英語資格講座Ⅰ(2) 英語資格講座Ⅲ(2)	2	英語資格講座Ⅱ(2) 英語資格講座Ⅳ(2)	2	英語資格講座Ⅰ(2) 英語資格講座Ⅲ(2)	2	英語資格講座Ⅱ(2) 英語資格講座Ⅳ(2)	2	8
	必修		Overseas StudiesⅠ(4)	4	日本研究(2)	2	異文化研究(2)	2									8	
	選択	中国語検定対策Ⅰ(2) 韓国語検定対策Ⅰ(2)	4	中国語検定対策Ⅱ(2) 韓国語検定対策Ⅱ(2)	4	イギリス文学入門(2) 中国語検定対策Ⅰ(2) 韓国語検定対策Ⅰ(2)	6	Asian Studies(2) American Studies(2) アメリカ文学入門(2) 中国語検定対策Ⅱ(2) 韓国語検定対策Ⅱ(2)	10	Oceanian Studies(2) British Studies(2) 企業研究Ⅰ(2) International Relations(2) Global Economy(2) Marketing(2) 中国語検定対策Ⅰ(2) 韓国語検定対策Ⅰ(2)	16	企業研究Ⅱ(2) Global Business(2) Management(2) 中国語検定対策Ⅱ(2) 韓国語検定対策Ⅱ(2)	10	Oceanian Studies(2) British Studies(2) 企業研究Ⅰ(2) International Relations(2) Global Economy(2) Marketing(2) 中国語検定対策Ⅰ(2) 韓国語検定対策Ⅰ(2)	16	企業研究Ⅱ(2) Global Business(2) Management(2) 中国語検定対策Ⅱ(2) 韓国語検定対策Ⅱ(2)	10	52
	英語コース 選択				English Linguistics(2)	2			Interpretation(2) Extensive Reading(2) American Literature(2) Sociolinguistics(2)	8	Media English(2) Business English(2) Translation(2) Extensive ReadingⅡ(2) British Literature(2) Theory of Eng Structure Applied Linguistics(2)	14	Interpretation(2) Extensive Reading(2) American Literature(2) Sociolinguistics(2)	8	Media English(2) Business English(2) Translation(2) Extensive ReadingⅡ(2) British Literature(2) Theory of Eng Structure Applied Linguistics(2)	14	24	
必修				Basic SeminarⅢ(1)	1	Basic SeminarⅣ(1)	1	SeminarⅠ(1)	1	SeminarⅡ(1)	1	SeminarⅢ(1)	1	SeminarⅣ(1)	1	6		
合計		27		33		28		28		35		29		26		26	128	

要件
6
4
6
2
36
8
16
6

履修モデル3 観光コース

修学目的：国際通用性の高い英語コミュニケーション能力とともに、将来、観光の分野で活躍するのに必要な知識を身につけることを目的としています。

区分	1年				2年				3年				4年				合計	要件		
	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位				
基礎教育科目	桜花学 選択必修	現代社会と女性(2) 女性とジェンダー(2)	4	生活と経済(2) 地域社会(2) 人間と歴史(2)	6	環境の科学(2) 食と生命の科学(2)	4										14	6		
		芸術の世界(2) 文学の世界(2) 心の探求(2) 生き方の探求(2)	8	異文化理解(2) 日本の文化(2) 国際関係論(2) 世界の宗教(2)	8													16	4	
	必修	基礎演習Ⅰ(1) 日本語表現Ⅰ(1)	2	基礎演習Ⅱ(1) 日本語表現Ⅱ(1)	2	日本語表現Ⅲ(1)	1	日本語表現Ⅳ(1)	1								6	6		
	選択	コンピュータⅠ(1)	1	スポーツ健康論(2) コンピュータⅡ(1)	3	スポーツⅠ(1) 統計学(2) 社会調査法(2)	5	スポーツⅡ(1) 情報社会論(2)	3	NGO・NPO論(2) 現代社会と企業(2) 地域協力演習(2)	6						18			
基礎科目	選択	スペイン語と文化Ⅰ(1) 中国語と文化Ⅰ(1) 韓国語と文化Ⅰ(1)	3	スペイン語と文化Ⅱ(1) 中国語と文化Ⅱ(1) 韓国語と文化Ⅱ(1)	3	中国語と文化Ⅲ(1) 韓国語と文化Ⅲ(1)	2	中国語と文化Ⅳ(1) 韓国語と文化Ⅳ(1)	2								10	2		
	必修	英語ベーシック(1) Listening&SpeakingⅡ(2) Reading & Writing (3) EnglishPresentationⅠ(1)	7	英語ベーシック(1) Listening&SpeakingⅡ(2) Reading & Writing (3) EnglishPresentationⅠ(1)	7	Listening & SpeakⅢ(2) Reading&WritingⅢ(3) EnglishPresentationⅠ(1) English PhoneticsⅠ(2)	8	Listening & SpeakⅢ(2) Reading& WritingⅣ(3) EnglishPresentationⅠ(1) English PhoneticsⅡ(2)	8	Communicative EnglishⅠ(1) Academic WritingⅠ(2)	3	Communicative EnglishⅡ(1) Academic WritingⅡ(2)	3				36	36		
専門教育科目	英語ベーシック	選択	英語資格講座Ⅰ(2) 英語資格講座Ⅲ(2)	2	英語資格講座Ⅱ(2) 英語資格講座Ⅳ(2)	2	英語資格講座Ⅰ(2) 英語資格講座Ⅲ(2)	2	英語資格講座Ⅱ(2) 英語資格講座Ⅳ(2)	2	英語資格講座Ⅰ(2) 英語資格講座Ⅲ(2)	2	英語資格講座Ⅱ(2) 英語資格講座Ⅳ(2)	2	英語資格講座Ⅰ(2) 英語資格講座Ⅲ(2)	2	英語資格講座Ⅱ(2) 英語資格講座Ⅳ(2)	2	8	8
		必修		Overseas StudiesⅠ(4)	4	日本研究(2)	2	異文化研究(2)	2									8	8	
	三コース共通	選択	中国語検定対策Ⅰ(2) 韓国語検定対策Ⅰ(2)	4	中国語検定対策Ⅱ(2) 韓国語検定対策Ⅱ(2)	4	イギリス文学入門(2) 中国語検定対策Ⅰ(2) 韓国語検定対策Ⅰ(2)	6	Asian Studies(2) American Studies(2) アメリカ文学入門(2) 中国語検定対策Ⅱ(2) 韓国語検定対策Ⅱ(2)	10	Oceanian Studies(2) British Studies(2) 企業研究Ⅰ(2) International Relations(2) Global Economy(2) Marketing(2) 中国語検定対策Ⅰ(2) 韓国語検定対策Ⅰ(2)	16	企業研究Ⅱ(2) Global Business(2) Management(2) 中国語検定対策Ⅱ(2) 韓国語検定対策Ⅱ(2)	10	Oceanian Studies(2) British Studies(2) 企業研究Ⅰ(2) International Relations(2) Global Economy(2) Marketing(2) 中国語検定対策Ⅰ(2) 韓国語検定対策Ⅰ(2)	16	企業研究Ⅱ(2) Global Business(2) Management(2) 中国語検定対策Ⅱ(2) 韓国語検定対策Ⅱ(2)	10	52	
		英語コース	選択	観光学概論(2)	2	観光マーケティング(2)	2	Tourism EnglishⅠ(2) 観光ホスピタリティ(2)	4	Tourism EnglishⅡ(2) 旅行地誌Ⅰ(2)	4	Social Anthropology(2) 旅行地誌Ⅱ(2)	4	Comparative Cultural Studies(2) 観光とサブカルチャー(2) 観光政策論(2)	6				22	16
必修				Basic SeminarⅢ(1)	1	Basic SeminarⅣ(1)	1	SeminarⅠ(1)	1	SeminarⅡ(1)	1	SeminarⅢ(1)	1	SeminarⅣ(1)	1	6	6			
合計		29	35	30	32	31	21	18	12	126										

# 免許状・資格等の取得

## 中学校教諭1種免許状及び高等学校教諭1種免許状の取得

本学で教育職員免許の中学校教諭1種免許状及び高等学校教諭1種免許状の取得をする場合、学士の学位を取得し、以下の指定する共通教育科目、学芸学部英語学科の専門科目及び自由科目を履修しなければなりません。

1. 基礎資格  
学士の学位を有すること。

2. 教育職員免許法施行規則に定める科目

免許法施行規則に定める科目及び単位数		本学の授業科目と単位数		必要な単位数
科目	単位	科目	単位	単位
日本国憲法	2	日本国憲法	2	2
体育	2	スポーツ健康論 スポーツⅠ スポーツⅡ	2 1 1	2
外国語コミュニケーション	2	Listening and Speaking Ⅰ Listening and Speaking Ⅱ	2 2	2
情報機器の操作	2	コンピュータⅠ コンピュータⅡ	1 1	2

3. 教職に関する科目（中免は31単位以上、高免は23単位以上修得）

免許法施行規則に定める科目区分等		本学の授業科目と単位数		必要な単位数
科目	単位	科目	単位	単位
教職の意義等に関する科目 ※①	2	教職入門	2	2
教育の基礎理論に関する科目 ※②	6	教育原理 教育心理学 教育行政	2 2 2	2 2 2
教育課程及び指導法に関する科目 ※③	中免は12、 高免は6	英語科教育法Ⅰ 英語科教育法Ⅱ 英語科教育法Ⅲ 英語科教育法Ⅳ 道徳教育の指導法 特別活動の指導法 教育方法・技術論	2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2
生徒指導、教育相談及び 進路指導に関する科目 ※④	4	生徒・進路指導論 教育相談	2 2	2 2
教育実習	中免は5、 高免は3	教育実習指導 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ	1 4 2	1 4 2
教職実践演習	2	教職実践演習（中・高）	2	2

4. 教科に関する科目（中免・高免ともに20単位以上修得）

免許法施行規則に定める科目区分	本学の授業科目と単位数		必要な単位数
科目	科目	単位	単位
英語学	English Linguistics English Phonetics I English Phonetics II Theory of English Structure Sociolinguistics Applied Linguistics	② ② ② 2 2 2	20 以上
英米文学	イギリス文学入門 アメリカ文学入門 American Literature British Literature	② ② 2 2	
英語コミュニケーション	Listening and Speaking I Listening and Speaking II Listening and Speaking III Listening and Speaking IV Communicative English I Communicative English II	② ② ② ② ① ①	
異文化理解	異文化研究 Asian Studies Oceania Studies American Studies British Studies	② 2 2 2 2	

※「道徳教育の指導法」は、中学校教諭の免許を取得する場合のみ必修です。

※「教職に関する科目」及び「教科に関する科目」について、必要な単位数を含め、中免・高免ともに59単位以上修得してください。

※免許法施行規則に定める各科目に含める必要事項

※①・教職の意義及び教員の役割

- ・教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。）
- ・進路選択に資する各種の機会の提供等

※②・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想

- ・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）
- ・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項

※③・教育課程の意義及び編成の方法

- ・各教科の指導法
- ・道徳の指導法
- ・特別活動の指導法
- ・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）

※④・生徒指導の理論及び方法

- ・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法
- ・進路指導の理論及び方法

※「教育実習指導」及び「教育実習I」、「教育実習II」の受講に際しては、「桜花学園大学学芸学部教職免許取得に関わる教育実習等の履修に関わる規則」（学則 諸規程に収録）を参照してください。

5. 中学校教諭1種免許状を取得する場合、「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律」及び「同施行規則」の定めるところにより、「介護等の体験」を7日間にわたり行うことが必要となります。

## 小学校英語指導員資格(J-SHINE)取得プログラムについて

本学は小学校で始まる英語教育に対応すべく、小学校英語指導員資格のための授業を開講できる正規認定校になっています。カナダでのプログラム実習を含め、指定された以下の科目を履修した上で、各自申請すると資格を取得することが可能です。プログラム説明会にて詳細は説明されます。

### 【受講対象】

保育学部：原則として小学校、または幼稚園免許取得課程を履修する学生

学芸学部：原則として中学校、または高等学校免許（外国語—英語）課程を履修する学生

### 【資格取得のための必須授業】

「英語学習と学習指導要領」 2単位（学芸学部2年生前期講義科目）

「J-SHINE 語学実習」 2単位（学芸学部2年生前期集中実習科目）

「児童英語教育法」 2単位（保育学部3年生前期講義科目）

「Applied Linguistics」 2単位（学芸学部3年生前期講義科目）

※それぞれ学部をまたがった履修が可能です。また、上記設定学年以上であれば、上級学年での履修も可能です。



